

新聞広告賞



第

33

集

NEWSPAPER ADVERTISING PRIZE 2013

序文

新聞広告賞は、新聞と広告の発展に資するため、新しい新聞広告の可能性を開拓する優れた広告活動を展開した広告主、新聞社を顕彰しております。33回目となる今回も多数のご応募をいただきました。これもひとえに広告主企業、広告会社はじめ関係各方面と読者のご理解、ご支援あってのことと、あらためて感謝申し上げます次第です。

今年を受賞作品をみますと、「新聞広告大賞」を受賞した「サントリー金麦 ご当地季節情緒企画」は、新聞の地域密着の特性を生かし、各地の風物詩を記事体広告で紹介、商品との相性を訴求した優れたエリアマーケティングを実践した作品として高く評価されました。「元素周期表を、つくろう」は、紙媒体である新聞の特長に着目し、広告を切り抜いて貼るユニークな仕掛けを子どもの教育にも結び付けたものです。

このほか、名画をモチーフに子どもの成長や未来に食を通じて貢献する企業姿勢を表現した作品、世界遺産や美術館のビジュアルを使って製品が技術のみならず美術分野でも貢献していることを訴求して、企業イメージを向上させた作品、新聞社の全社を挙げた機能を広告に活用し、紙面、ウェブサイト、SNSで、支援する側とされる側をつなげ被災地支援に大きく貢献した企画など、それぞれ新聞媒体あるいは新聞広告の特長を十分生かした広告展開として高い評価を得ました。

情報環境はますます多様化し、広告主企業は広告出稿に対して、より効率性を求めるようになってきました。私たちは、広告主企業や広告会社からのご意見やご要望を真摯に受け止め、今後も新聞広告の発展に努力していく所存です。新聞広告の未来は、今の時代に即した魅力をいかに提案できるかにかかっていると考えおります。その代表作を収録した本作品集が、新たな広告展開をご検討いただく際の参考になれば幸いです。

第56回「新聞広告の日」に際しまして、新聞と新聞広告を支えている広告主・読者の皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

2013年10月18日

一般社団法人 日本新聞協会
会長 白石 興二郎

第1条 (目的と名称)

日本新聞協会は、新しい新聞広告の可能性を開拓した広告活動を顕彰し、新聞と広告との発展に資することを目的に「新聞広告賞」を設け、毎年新聞週間に際し贈賞する。

第2条 (表彰の事由・贈賞の対象)

- (1) 新聞広告の新しい利用法や表現領域の開拓に成功した活動、新聞広告により広告目的に即して大きな成果をあげた活動、その他新聞媒体と新聞広告の特性・機能を活用あるいは開発し前条の目的に照らして貢献するところが大きいと認められる活動を表彰する。
- (2) 本賞は、協会会員紙に掲載され、前項に該当すると認められた広告作品に贈られる。



第3条 (賞の構成)

- (1) 本賞は広告主部門と新聞社企画部門の二つの部門によって構成する。
- (2) 広告主部門の本賞受賞作品から新聞広告大賞1作品を選定する。
- (3) 選考委員会は、前項両部門について、本賞とは別に、広告主部門においては優秀賞を、新聞社企画部門においては奨励賞を贈ることができる。

第4条 (受賞対象)

本賞の受賞対象は、広告主部門については当該活動の企画立案にあたった広告主企業とし、新聞社企画部門については協会会員新聞社の当該活動企画部門とする。

第5条 (表彰)

- (1) 広告主部門の入選作は6作品とし、新聞広告大賞1作品、新聞広告賞(広告主部門)5作品にそれぞれ賞状ならびに副賞を贈る。
- (2) 新聞社企画部門の入選作は5作品とし、新聞広告賞(新聞社企画部門)として、賞状を贈る。
- (3) 優秀賞に対しては賞状と副賞を贈る。
- (4) 奨励賞に対しては賞状を贈る。

第6条 (応募・推薦)

- (1) 本賞は、原則として、本賞の目的に合致した作品の企画・制作、掲載をした関係者の応募により選考を行う。ただし、広告関係の第三者による推薦を妨げない。
- (2) 応募・推薦の手続きは別に定める。

第7条 (選考)

本賞の選考はつぎの方法による。

- (1) 会長の任命する委員をもって新聞広告賞選考委員会を組織し、広告賞贈賞に関する事項を審議決定する。
- (2) 選考委員会は、応募・推薦された候補について審議し受賞者を決定、その旨を理事会上に申し承認を得る。
- (3) 選考委員会は、必要に応じ外部の関係者から意見を求めることができる。
- (4) 両部門の特性を考慮し、選考委員会の運営細則を別に定める。
- (5) 選考結果は、「新聞協会報」および「新聞広告報」誌上と当協会ウェブサイトで発表する。

第8条 (選考の対象期間)

- (1) 本賞選考の対象となる作品は、前年6月1日から本年5月末日までの1年間協会会員各紙に掲載されたものとする。
- (2) 上記期間を越える長期の活動については顕彰に値すると選考委員会が判断した場合は、始期は問わずこれを対象に含める。

第9条 (提出資料および締め切り期日)

応募者ならびに推薦者は、当該作品に所定の関係資料をそえて毎年6月初旬までに選考委員会に提出するものとする。

第10条 (その他)

本賞の選考および運用の細目については、選考委員会の決定により別に実施細目を設けることができる。

2013年2月15日 改定

目次

- ◎序文 日本新聞協会会長 白石興二郎
- ◎「新聞広告賞」に関する規定

【広告主部門】

〈新聞広告大賞〉

- 4 サントリー金麦 ご当地季節情緒企画
サントリーホールディングス株式会社

〈新聞広告賞〉

- 8 味の素kk 企業広告キャンペーン
『最初の晩餐。』
味の素株式会社
- 10 元素周期表を、つくろう
東京エレクトロン株式会社
- 12 東芝のLEDが照らす世界遺産
株式会社東芝
- 14 ReBORN CROWN
株式会社トヨタマーケティングジャパン
- 16 2013シーズン キャンペーン広告
／2013年秋、優勝実写化へ。
株式会社広島東洋カーブ

〈優秀賞〉

- 18 【「応援学割」ドコモ田家シリーズ】
ご当地学生応援企画
株式会社NTTドコモ
- 19 東京駅丸の内駅舎 保存・復原工事
鹿島建設株式会社
- 20 寛文五年堂「一流は一流を知る」シリーズ
株式会社寛文五年堂
- 21 SPUR2013年2月号「SPUR×JOJO」
8点シリーズ
株式会社集英社
- 22 新日本の風景
東日本旅客鉄道株式会社
- 23 企業広告「ヒトは、本を読まねばサルである。」
株式会社宝島社
- 24 東日本大震災から2年 復興へのメッセージ
公益社団法人東京都医師会
- 25 「宇宙戦艦ヤマト2199」プロモーション
バンダイビジュアル株式会社
- 26 細菌カウンタ「一獲千菌」新聞広告
バナソニック株式会社
- 27 北海道は、日本のご近所です。
ホクレン農業協同組合連合会

【新聞社企画部門】

〈新聞広告賞〉

- 28 今できることプロジェクト
河北新報社 営業本部
- 30 LINKED
中日新聞社 広告局
- 32 漫画家が描くふるさと新潟 新潟マンガ王国
新潟日報社 広告事業本部
- 34 神戸新聞+Design
神戸新聞社 営業局
- 36 飲酒運転撲滅プロジェクト
「TEAM ZERO FUKUOKA」
西日本新聞社 広告局

〈奨励賞〉

- 38 東京子ども新聞 powered by 東京AR
中日新聞東京本社 広告局
- 39 第61回全日本広告連盟青森大会開催記念特集
「この国の未来・篠山紀信」
東奥日報社 営業局
- 40 「日本人の忘れもの」キャンペーン 第2部
京都新聞社 京都新聞COM営業局
- 41 みんなが生徒 山ほど楽しい気づきの場
～「六甲山大学プロジェクト」
神戸新聞社 営業局、神戸新聞地域総研
- 42 スマイルとうほくプロジェクト
岩手日報社 広告局
河北新報社 営業本部
福島民報社 広告局
- 43 選評 選考委員会委員長 手塚泰彦
- 44 審査講評 中島祥文氏
一倉宏氏
- 46 応募状況・選考経過
- 47 第33回新聞広告賞選考委員会委員名簿
- 48 (新聞広告大賞受賞告知広告)

広告主部門は広告主名 50 音順、新聞社企画部門は会員名簿順です。
文中、制作スタッフの略号は以下のとおりです。
Pro = プロデュース、CD = クリエイティブディレクション、AD = アートディレクション、C = コピー、D = デザイン、Ph = フォト、I = イラスト、CG = コンピューターグラフィックス